

## 平成29年度行政事業レビューシート(金融庁)

<b>事業名</b>	課徴金制度関係経費			<b>担当部局</b>	総務企画局	<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始年度</b>	平成17年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	<b>担当課室</b>	総務課審判手続室	高橋 恵美子	
<b>会計区分</b>	一般会計						
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	金融商品取引法第185条、第185条の4、第185条の5等 公認会計士法第34条の47、第34条の50、第34条の51等		<b>関係する計画、通知等</b>	-			
<b>主要政策・施策</b>	-		<b>主要経費</b>	その他の事項経費			
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	審判手続において、被審人に与えられた種々の権利を保証し、課徴金制度の適正かつ迅速な運営を確保すること。						
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	審判手続において、下記について法令に基づき行うもの。 ○被審人の申立て又は審判官の職権で、参考人に出頭を求めて審問すること。 ○被審人の申立て又は審判官の職権で、学識経験を有する者に鑑定を命ずること。 ○審判手続に關与する者に対し日本語が通じないとき、通訳人を立ち会わせること。 ○被審人の申立て又は審判官の職権で、審判官が事件関係人の営業所その他必要な場所に立ち入り、帳簿書類その他の物件を検査すること。						
<b>実施方法</b>	直接実施、委託・請負						
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	<b>26年度</b>	<b>27年度</b>	<b>28年度</b>	<b>29年度</b>	<b>30年度要求</b>		
	当初予算	4.6	4.6	4.3	4.3	4.3	
	補正予算	-	-	-	-	-	
	予算の状況	前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
		<b>計</b>	4.6	4.6	4.3	4.3	4.3
		<b>執行額</b>	0.1	0.1	0.7		
		<b>執行率 (%)</b>	2%	2%	16%		
		<b>当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)</b>	2%	2%	16%		
<b>平成29-30年度 予算内訳</b> (単位:百万円)	<b>歳出予算目</b>	<b>29年度当初予算</b>	<b>30年度要求</b>	<b>主な増減理由</b>			
	諸謝金	2	2	引き続き前年度と同額の予算を要求する。			
	職員旅費	1.2	1.2				
	参考人等旅費	0.8	0.8				
	金融機関等検査旅費	0.3	0.3				
	その他	0	0				
	<b>計</b>	4	4				



事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、被審人に与えられた種々の権利を保証するものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、被審人に与えられた種々の権利を保証するものであり、国が主体となって実施すべきものである。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、被審人に与えられた種々の権利を保証するものであり、ひいては、我が国における市場取引の公正性・透明性の向上に資するものである。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	金融庁が随意契約(企画競争)により調達した年間契約業者を利用することで、競争性を確保しつつ、コストの削減を図っている。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	金融庁が随意契約(企画競争)により調達した年間契約業者を利用することで、競争性を確保しつつ、コストの削減を図っている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	本事業における支出は法令上の要請に基づき行ったものであり、真に必要なものである。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	不用率が大きい理由は、被審人からの申立て等が少なかつたためである。
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名 事業番号 事業名		
点検・改善結果	点検結果	○課徴金制度関係経費については、法令上の要請に基づき、参考人の出頭や通訳人の立会いなどの被審人に与えられた種々の権利を保証し、課徴金制度の適正かつ迅速な運営を行うために不可欠なものであることから、30年度においても予算を確保する必要がある。	
	改善の方向性	○本事業にかかる経費については、前年度と同程度の予算を確保した上、適切に執行していく。	
外部有識者の所見			
(外部有識者点検対象外)			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通り	○本経費は、金融商品取引法、公認会計士法等、法令に基づき行われるものであり、課徴金制度の適正かつ迅速な運営を確保する上で必要な経費と認められる。 ○ただし、効率的な予算執行の観点から、引き続き、他に委託可能な他社の存在を継続的に確認するなど、コスト削減に努めていく必要がある。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状通り	○本経費については、証券取引等監視委員会による勧告の有無など、他律的な要素に依存することから、あらかじめ定量的な目標を示すことは困難であるものの、過去の実績を踏まえ、30年度においては、前年度同規模の予算要求を行う。		
備考			

関連する過去のレビュー・シートの事業番号																													
平成22年度	5.6	平成23年度	5.6	平成24年度	5.6																								
平成25年度	5.6	平成26年度	5.6	平成27年度	11																								
平成28年度	12																												
※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。																													
<b>資金の流れ</b> (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;"> <b>金融庁</b>  <b>0.1百万円</b>  <small>[課徴金制度関係経費]</small> </div>																												
	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;"> <b>A.(株)サイマル・インターナショナル</b>  <b>0.1百万円</b>  <small>[審判手続における通訳]</small> </div>																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">A.(株)サイマル・インターナショナル</th> <th colspan="3">B.</th> </tr> <tr> <th>費目</th> <th>使途</th> <th>金額 (百万円)</th> <th>費目</th> <th>使途</th> <th>金額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>諸謝金</td> <td>審判手続における通訳にかかる費用</td> <td>0.1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>0.1</td> <td>計</td> <td></td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>						A.(株)サイマル・インターナショナル			B.			費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	諸謝金	審判手続における通訳にかかる費用	0.1				計		0.1	計		0
A.(株)サイマル・インターナショナル			B.																										
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)																								
諸謝金	審判手続における通訳にかかる費用	0.1																											
計		0.1	計		0																								

#### 支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契 約 方 式 等	入 札 者 数 (応募者数)	落 札 率	一 者 応 札・一 者 応 募 又 は 競争性のない随意契約となつた 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)サイマル・インターナショナル	6010001109206	審判手続における通訳	0.1	随意契約 (その他)	-	--	